

農商務省より獨逸苑の沖縄関係物品目録について (下)

佐々木利和

(東京国立博物館)

萩尾 俊章

(沖縄県立博物館)

與那嶺一子

(沖縄県立博物館)

List of Materials belonging to Okinawa Prefecture, sent to Germany

by the Agriculture Affairs Bureau of Japanese Government

Toshikazu SASAKI

(Tokyo National Museum)

Toshiaki Hagio

(Okinawa Prefectural Museum)

Ichiko YONAMINE

(Okinawa Prefectural Museum)

農商務省よりの沖繩関係物品目録は、一八八二年（明治十五）十二月から一八八四年（明治十七）十月までの博物局と沖繩県の往復事務書簡である。一八七九年（明治十二）の琉球処分からはまだ間もない時期である。

本稿所収の往復文書からわかる通り、この間に沖繩県令は三人が交替している。上杉茂憲（一八四四～一九一九）は米沢藩出身の第二代沖繩県令である。一八八一年五月十八日に沖繩県令判事に任命された。一八八三年四月に元老院に転じるまでの約二年間県令として在職し、沖繩本島各地や宮古・八重山の民情視察をおこない、県費留學生を派遣するなど開明的な県政を試みたことで知られている。岩村通俊（一八四〇～一九一五）は土佐藩出身の第三代沖繩県令である。一八八三年に岩村は政府の地方巡察政策の一環として、宮古・八重山を網羅した民情視察をおこなった。その後、上杉の後任として約八カ月間県令に就いた。彼の県政は旧慣温存にあり、旧藩支配層の優遇措置をはかることに主眼があった。さらに、西村捨三（一八四三～一九〇八）は、彦根藩出身の第四代の沖繩県令である。琉球処分当時（一八七九年）は内務省で琉球関係事務を担当していた。一八八三年十二月二十一日に沖繩県の県令兼務を命じられ、一八八六年三月まで在任した。在職中は岩村の旧慣温存政策を踏襲しながらも、県政の基盤整備に尽力している。以上のように、ドイツへの物品目録の作成と物品採集は旧慣温存と県政改革というあわたたしい動きの時代におこなわれた。

ドイツー日本研究所のハンス・オイルシュレーガー氏は「ヨーロッパにおける沖繩関係コレクションの歴史と現状」（『世界に誇る・琉球王朝文化遺宝展』所収）と題する小論で、ヨーロッパの博物館が所蔵する琉球・沖繩関係のコレクションを紹介している。沖繩の博物館・美術館関係者にとっては貴重な報告である。その中で、ベルリン国立民族学博物館が所蔵する琉球関係コレクションは、一八八四年に東京駐日ドイツ領事館を通じて、日本政府に体系的な琉球関係コレクションの収集を依頼して、購入したものであることを概観した。購入総数は五四三点に上るが、今大戦で行方不明になったものがあり、現存するのは衣類六一点、ハチマチ五点、道具類のモデル八点、織物・染物の切れ地や反物三二点などという。この収集が体系的に行われているために、同氏は収集者が田代安定や笹森儀助等の早期の沖繩研究者ではないかと推定した。しかし、佐々木利和氏が指摘したように、本史料から採集者は沖繩県の官吏であつたと考えられる。

田代安定は一八八二年（明治十五）四月に、規那樹の植樹に関する調査のため農商務省より沖繩出張命令をうけている。この出張はドイツから物品採集の依頼が来る八カ月前のことである。この時、運よく参事院議尾崎三郎に会って、宮古・八重山への巡検に同行している。尾崎の明治一五年の「琉球行」という史料では、那覇滞在中の七月二十三日に田代が尾崎を訪ねている。田代は八重山へ渡るのに難渋していたようで、尾崎の日記には「田代安定来ル同人ハ本県地方キナ樹培植ノ為メニ来ルト云植物学専務ナリ琉球島ニハ良材ナシハ八重山島ニハ必ス良材アラン然レ共先島出張ノ許可アラス甚遺憾ナリ云々余之ヲ徂漣シ先島ニ航渡セシメントス旅費ノ如キハ余之ヲ弁セン云々」とある。こうして、西原農事試験場温室に育養中の規那樹を携えて八重山諸島に植樹することができた。この時に田代はその後の研究テーマの一つともなる結繩（わら算）に出会っている。出張後は帰京し、農商務省で在勤している。次に再度来沖するのは、一八八五年六月のことで、ドイツへの沖繩関係資料の採集はすでに終了した後である。農商務省より沖繩出張命令をうけ、二度目の八重山調査を敢行している。この際は沖繩県六等属兼任の身分でもあった。以上のように、田代がドイツからの物品目録の作成や採集などに直接的に関わった機会や形跡は今のところみつからない。なお、笹森儀助が郷土青森にあつて事実上公職を捨てたのは一八九〇年（明治二十三）九月である。そして、明治二十六年五月十日弘前を旅立ち、南島を踏査し帰郷したのは同年の十一月八日のことである。明治十五年といえは、中津軽郡郡長として開拓の準備をしていた常盤野に農牧社を設立しその経営に当たっていた頃である。したがって、当時は笹森が沖繩に関係する以前であり、当該琉球コレクションの収集に関与したことは考えられない。

田代安定や笹森儀助が関わった形跡がないとすれば、採集目録の作成や物品収集は本史料から推定できるように、沖繩県の官吏によつて進められたと考えるのが妥当であろう。その沖繩県官吏が具体的にどのような人物であつたかは不明である。往復文書には幾人かの人物名がみえる。大書記官森長義は明治十六年五月には大書記官兼判事である。明治廿年五月二日をもって沖繩県書記官から秋田県書記官に転任している。明治十七年六月三十日付の文書によれば、八等属野村道安、御用掛本村朝昭両名が採集物品の送付のために上京している。この両名が実務的な担当者であつたかどうかは明らかではない。属官の掘右江門の名や物品の提供者として那覇東村十四番地第二号の宮城仁王の名がみえる。これらの人物については今後追跡調査の必要性がある。本件の物品目録の採集枠組みの対照表を示したのが表一である。おおよそは提起された分類表に従つて目録が作成されているが、一部項目の組み替えもみられる。とりわけ第二の衣裳関係では身分別と男女に分けた収集がなされ注目される。この点は

後述されるので詳細は譲るが、王子按司、親方、親雲上、里之主筑登之、平民に分けてさらにこれを男女別に示している。また、織物関係も当初の予算物品目録では「織物」と「染料」に分けられていたが、清算物品目録では織物のタイプ別に細分類して整理し、染料具は一括して提示している。これと関連して、第三では身分別にハチマチと簪が採集されている点も特記できる。これらは浦添市美術館で開催された「世界に誇る・琉球王朝文化遺宝展」で展示された。第四の粧飾物関係では「膚刮器機械」として「針」・「杓」がある。これは東京国立博物館にも所蔵されている「針突」の道具と考えられる。また、図録「世界に誇る・琉球王朝文化遺宝展」には、ベルリン国立民族学博物館所蔵で、オットー・ワールブルクが一八八八年に那覇で収集した道具が出品された。また、その後の「人体の局部を変形したる見本」としてあげられている絵図はハジチの絵図と想像される。第九の「本國固有の技術に係る物品」では「芭蕉紙」が採用されている点も採集の視点として摘記できるものである。第十の「文字見本及び元質」に関連して、「文字に代用せる書図の類」として結繩の類があげられているが、実際の目録では結繩はみられない。ここでも、もし田代安定が関係しているのであれば、結繩すなわち「わらざん」が収集されているはずであるが、目録からは洩れている。第十四の宗教・信仰関係の用具や衣服などについては、当初の予算物品目録では「僧侶及び官司衣佛具樂器」として紫衣、法冠、烏帽子他があげられているが、清算物品目録では「神官僧侶及びノロクモイ衣服着用雛形並神仏」の内容に、「ノロクモイ」としてノロ関係の資料が追加されている。

なお、清算目録の最後にある絵図面類四十枚はドイツ側からの依頼で物品の運搬に不便なるものとして絵図を指定していた。図録「世界に誇る・琉球王朝文化遺宝展」に掲載されている「進貢船の図」と「楷船の図」はこの中に含まれていたと思われる。以上のように、ドイツ希望物品目録、沖縄側の予算物品目録と実際の清算物品目録の間には、採集が行われる段階での、実情に合わせての項目の検討が行われた形跡がある。

さて、ここにあげられている採集物品の代価は当時の物価を考える上で興味深い。この代価は当時の価格と比較するとどうであろうか。清算物品目録では、大麦ないし小麦は一合一銭である。沖縄県甲第拾壹号・明治十六年麦石代相場では、麦壱石二付金七円六拾七銭五厘（普通値段）、麦壱石二付金七円四拾式銭（安値段）があり、これを一合あたりに換算すると、七〜八厘程度となる。また、明治十六年の官衙備品・消耗品調査表には、一部参考となるものがある。この単価は（ ）の中に記した。棕櫚簾一本は式拾四銭（十五銭）、算盤一個は三拾銭（十一銭四厘）、尺度一本は五銭（八銭七厘）、茶碗一枚四銭（一銭）、鉢は拾

式錢（四錢八厘）である。清算目録の代価は高いともいえるが、目録名からは実物資料の内容がわからず、収集にともなう経費や品質の上下があり速断はできない。

最後に、採集洩れとして遅れて到着した物品がある。桑布、白酎、蜜林酎など九点である。依頼の物品はドイツへすでに発送済みのため、これらは東京国立博物館に収蔵されることになった。掲載の写真がそれである。現在では入手が難しいものがあり、きわめて貴重な資料である。これらの県内輸送には沖縄開運会社があたっている。社長は林次郎左衛門で、同氏他に二名の社員で経営されており、明治十六年に神戸鹿兒島大島間郵便業務を申請し、事業の拡張をおこなっている。事業拡大のために汽船大有丸を所有し、さらに汽船寧静丸を購入している。那覇―東京間は京都名産会社が輸送を請け負っている。

【参考文献】

- ドイツ日本研究所『世界に誇る・琉球王朝文化遺宝展』一九九二年
- 琉球政府『沖縄県史 第十三巻資料編三』（沖縄県関係各公文書二）一九六六年
- 沖縄県沖縄史料編集所『沖縄県史料 近代三 尾崎三良・岩村通俊 沖縄関係史料』一九八〇年
- 沖縄県沖縄史料編集所『沖縄県史料 近代四 上杉県令沖縄関係史料』一九八三年
- 田代安定『沖縄結縄考』一九七七年
- 笹森儀助『南嶋探検』一九八三年
- 『新沖縄文学 沖縄研究の先人たち』七十七号 一九七七年

〈表一 物品目録の採集枠組みの対照表〉

	ドイツ希望物品目録	採集予算目録	清算物品目録
第一	食物見本、調味物、飲物、刺激剤 貯蔵物品、調理・餐用器具他	食物の部 調味物の部 飲物の部 調理器具の部 餐用器具の部	食物の部 調味物の部 飲物の部 調理器具の部 餐用器具の部
第二	男女衣服 等級を示す衣服 祭服宴席 着用衣服 織物、繊維質、染料物製造用機械	男女及び等級を示す処の衣服類 王子按司男の部 同女子の部 親方並申口男の部 同女の部 親雲上男の部 同女の部 里之主筑登之男の部 同女の部 平民男の部 同女の部 着用雛形の部 織物の部 工芸課 染料物の部 工芸課	男女及び等級を示す処の衣服類 王子按司男の部 同女子の部 親方男の部 同女の部 親雲上男の部 同女の部 里之主筑登之男の部 平民男の部 同女の部 衣服着用雛形の部 (本国固有織物の部)
第三	人体の装飾、等級を示すべき標章 臨時着用の装飾、神符札	等級を示す標章 但男子の部 同女子の部 臨時着用の装飾	等級を示す標章但男子の部 同女子の部 臨時着用の装飾
第四	人体を清潔になす粧飾物、人体を変形すべき物品、皮膚爪齒等染料物、膚刮器機械他	人体を清潔になす粧飾物 皮膚爪染料物 膚刮器機械 人体の局部を変形したる見本	人体を清潔になす粧飾物 皮膚爪染料物 膚刮器機械 人体の局部を変形したる見本
第五	住家模造雛形	住家模造雛形写真	住家模造雛形写真
第六	家具類	家具類	家具類
第七	獸猟器械	獸猟器械	獸猟器械
第八	農具及び牧養器械他	農具	農具
第九	本國固有の技術に係る物品他	本國固有の技術に係る物品 陶器	本國固有の技術に係る物品
第十	文字見本及び元質、詩歌、諺語他	(見出しなし)	(見出しなし)
第十一	国境を記する器械、度量衡、算具他	(見出しなし)	(見出しなし)
第十二	樂器類	樂器類 芸術課	樂器類
第十三	嬉戯に使用せる器具、玩物	玩物	玩物
第十四	宗教、魔術、神器、僧侶の表号他	僧侶及び宮司衣佛具樂器	神官僧侶及びノクモイ衣服着用雛形並神仏

沖繩関係物品目録における染織資料について

與那嶺一子

琉球王国の解体と第二次大戦という二つの大きな歴史的な事柄は、実物の染織資料と文献資料の多くを失うという結果を招き、沖繩の染織はもとより、歴史、文化における数々の疑問点をますます複雑なものにしている。特に廃藩置県以後は近代化の名の元に、これまでの習俗が急速に変化したために、衣生活における「誰が」「いつ」「どのように」という基本的な点と、技術史的側面が曖昧なままで未だ明確にされていない。

農商務省を通してドイツに送られた資料は、琉球王国のいわゆる名品ではなく、学術研究を目的として民俗的な視点から収集されたものである。本資料の「目録」部分からは、明治十七年当時における沖繩の状況を明らかにする次のような手がかりが得られる。

目録は「ドイツから希望された物品目録」と「予算目録」、「清算目録」に分かれている。希望された物品と「清算目録」を照らし合わせてみると、どの資料が購入段階で削除されたかが分かってくる。(詳細は萩尾の「沖繩関係物品目録に関する付記」を参照) また、「見積価格」と「清算価格」には若干の違いが見られ、実際には安価であったものや反対に高価となる資料もある、さらに、物品の価格からは、当時の価値観等も推察される。

このようにしてドイツ国へ送られた資料は、二つの大戦を経過してなお、その一部がドイツに現存している。それについては、ヨーゼフ・クライナー博士(前ドイツー日本研究所所長)が一九八三年〜一九八六年までの三年間調査を行なっており、「ヨーロッパに見る琉球の文化財」の一つとして一九九一年に開催された那覇市政七十周年記念企画「歴史をひらく 琉球文化秘宝展」記念講演(九月二八日/主催・那覇市・琉球放送・沖繩三越)で報告している。また一九九二年九月浦添市美術館で開催された「世界に誇る・琉球王朝文化遺宝展」の際にはこの目録に記載されている染織資料の内二十六点が一般公開された。

清算された染織資料は①男女及び等級を示す処の衣服類、②本國固有の織物、③等級を示す標章に分けて収集されている。

男女及び等級を示す衣服類は、王子按司の部、親方の部、親雲上の部、里之子筑登之部、平民の部に分かれ、それぞれの階級の男女の衣装が収集されている。階級別に分けた後、第一号、第二号と小分類でまとめられ、上衣から帯に加えて下着まで含まれている。しかし、小分類は衣装一揃えを意味するものではない。第一号を例にとっても分かるように下着(胴衣袴のこと)や

帯を二種類含むものもあれば、下着類を含まないものもある。これらの衣装がどのように着装されたかについては、残されている実物資料や衣服に関する文献資料、絵画資料等を参照することも含め今後の課題である。

「本國固有の織物」には、上布、紬織物、芭蕉布、花蔵織、羅織（紹織）、羅トン織（ロートン織か）、花織など、現在も伝統的に織られている織物に加え、蘆薈布や桐板布など、現在その技法が跡絶えたものも含まれている。また、興味深いことに、それぞれの糸も採集の対象とされている。

芭蕉布の価格を見ると、一反壹円五拾銭のものから六円八拾銭のものまであり、庶民から王侯士族までといわれた芭蕉布の様さを裏づけている。

清算目録の最後に追加された資料が九点記載されているが、これらの資料はドイツへは送られず、上野の博物館（現在の東京国立博物館）に残されたままである。その内、湿気を払うものとして病人が着用したといわれる「桑布」とその「樹皮」、「経糸」がある。桑布は幅三十八センチで、一センチ間の経緯の織密度は、経十本で緯七本である。経糸、緯糸共に撚りによって繋がれている。また、布には「水納嶋十三番地平民狩俣栄助妻カナ」と墨書による銘書きがある。桑糸は撚糸されており、目録から経糸だと推察される。桑から糸を取る方法は既に技法が跡絶えており、これらの資料がその存在を示す唯一の資料である。今後、資料の復元や、技法の再現に際して貴重な資料となる。

この清算目録と実物資料については、一九八四年と一九八六年の二回に渡り大城志津子氏（一九八九年没／沖縄県立芸術大学教授）が確認調査を行なっている。第一回の調査後、記憶をたどって復元した花倉織が目録番号「第二号イ号 羅色衣」で、第七回個展（一九八六年）で発表現存資料についてのメモ書きと調査ノートの一部を残し、結果をまとめる前に他界している。

一九九二年に祝嶺恭子氏（沖縄県立芸術大学教授）がこれらの資料について再調査を行い、「琉球王朝時代の染織の調査研究―ベルリン民俗学博物館所蔵のコレクションを中心に―」（『沖縄県立芸術大学紀要 第三号』一九九五年）と題する論文に中間的報告として、全資料の技法・素材・糸の状態・採寸・制作地、年代・布幅・織密度についてのデータを掲載している。

大城、祝嶺両氏の調査の結果は、「清算目録」の中で現存する資料として「別表Ⅰ―Ⅳ」のような形でまとめられる。「現名称」は祝嶺氏が付したものである。「祝嶺調査」は先の論文中の「ベルリン民族学博物館資料調査の一覧表」より素材・技法・備考のみを抜き出した。番号6658, 6741は大城メモに記載されていたもので、祝嶺氏の調査結果には含まれていない。

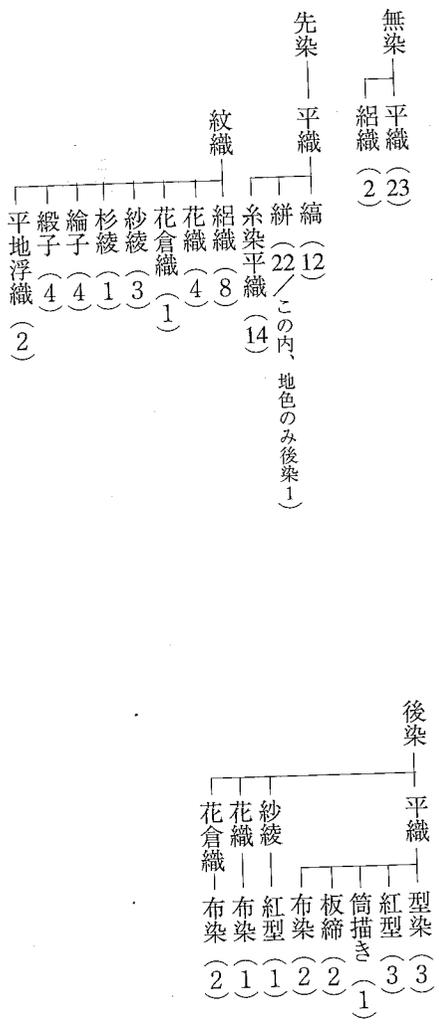
現存染織資料一七点 (6658, 674を含む) の内訳は、用途で見ると、衣装六九点、冠、頭巾類九点、反物あるいは布裂三六

点、手巾、風呂敷、蚊帳等三点となる。冠・頭巾等を含む装束資料の内、四六点が男性用、三〇点が女性用である。染織技術の面からみると、次の図のように分類された。花倉織は花織と絹織で一つの布をなすものとみなした。また、格子と

絹、経縮と併等、併を伴う資料は全て「併」として分類した。「縮」には経縮、格子縮が含まれる。「花織」は首里で主に織られていた両面浮花織(首里花織)のことで、現在、読谷山花織と呼ばれている花織の衣装または布や、縫取織による花織ティサジが、このコレクションには所集されていない。祝嶺氏の調査から、併の資料の内十点が絵図式

(絵併と類似の技法) と呼ばれる技法によることや、内一点は白地の併布を織った後で地染めを行なったことが分かっている。今後、ドイツ、東京に残されたこれらの資料の詳細が、染織技法はもとより、仕立や着装法などの服飾的側面からも調査されることは、今後の課題であり、様々な疑問の解明への大きなステップとなることと思われる。

〈図一 沖縄関係物品目録中現存染織資料の染織技術からみた分類〉 ※ () 内は数量

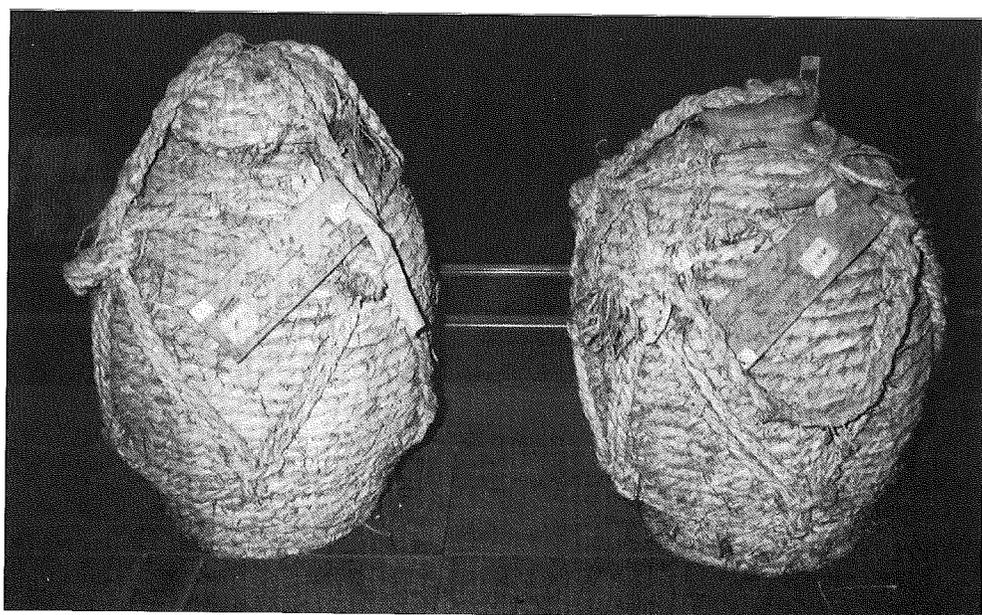


〈表一〉 沖縄関係物品目録より現存する染織資料

目録番号	目録名称	番号	大塚メモ	現名称 (祝儀付与)	祝儀調査	備考
第一号イ号	緑色朝衣	6655	白糸、鶯色	芭蕉萌黄色地平織朝衣	絹、芭蕉/平織、後染	王子按司男ノ部
第一号ハ号	花繪種袴	6658	中国産、裏水色地織子			
第一号ニ号	繪子裾衣袴	6657b		深淺地紗綾繪子袴袴	絹/藍染、表緞子織、裏紗綾	
第一号ト号	金入綴子細帯	6660		絹青緞地雲龍様模入り綴子帯	綿、金糸/綴子	
第二号イ号	羅色衣	6645	絹淺地花織織	深淺地朝織朝衣	絹/藍染、綴織、花織	
第二号ロ号	菊地京晒色衣	6646	和風仕立	絹青色地雲龍様模入り綴子袴袴	絹/藍染、刺織、綴袴子	
第二号ハ号	花織織色衣	6647	絹糸、ミーゾ	経緞袴菊地花織織朝衣	経緞、袴麻/藍染、花織織	
第三号ハ号	紗綾袴羽衣袴	6652	ミーゾ繪子、裏は同色無地	絹深淺地紗綾繪子羽衣袴	絹/藍染、表紗綾、裏緞子織	
第四号イ号	白糸ヤスミ給	6666	紺は真綿袖、灰色は白糸、裏は藍染木綿	経緞袴紺袖紺地ヤスミ織衣裳	経木綿、綿緞結/平織/袴は紺	
第四号ハ号	白糸ムア綾給	6663	木綿藍染格子、裏同色木綿	綿紺地格子平織冬物衣裳	木綿(手紡糸)/藍染、平織	
第四号ニ号	木綿裾衣袴	6664a	二領、木綿裾衣	木綿白地平織袴	木綿(手紡糸)/平織	
	木綿廣袖袴	6664b		木綿白地平織袴	木綿(手紡糸)/平織	
第四号ホ号	木綿廣袖下着	6665		木綿白地平織下着	木綿(手紡糸)/平織	
第五号イ号	紺地細上布帷子	6668	宮古上布、巾43cm~45cm	苧麻紺地経緞新夏衣裳	苧麻/平織/宮古上布、田無	
第五号ロ号	麻廣袖下着	6669		麻無地平織羽加下着	苧麻/平織	
第六号ロ号	花繪種袴	6671		絹茶地花繪種袴子真綿入り給衣裳	絹/紅花染、繪子	王子按司女ノ部
第六号ハ号	紗綾形付袴	6672	水色地型付、桜、笹、蕨、薄紗の箱	絹紗綾水色地蕨笹梅桜型付袴	絹/藍染、紗綾、紅型	
第六号ホ号	白紗綾朝衣	6674	薄物の箱	絹白無地平織袴	絹/平織	
第六号ヘ号	木綿縮緬	6675		木綿白地縮下着	木綿/平織	
第六号ト号	木綿袴	6676		木綿白無地平織袴	木綿(手紡糸)/平織	
第七号イ号	手織給	6677	紺地手織、経絹糸、緯木綿、裏木綿、紺二種ムアイニ種	紺紺地手織給衣裳	経絹、緯木綿(手紡糸)/平織	
第七号ロ号	木綿形付小袖	6678	杖垂桜、裏は別布(牡丹と竹垣)、同色別柄	綿花色地霞に杖垂桜模様紅型給小袖	木綿/紅型	
第七号ニ号	木綿形付半小袖	6680		綿白地松竹梅鶴様模様紅型縮緬	木綿(手紡糸)/紅型	
第七号ホ号	綴子馬褂	6681	裏綴子	絹茶地雲龍様模入り綴子冬着(マナー)	絹/綴子	
第八号イ号	赤字帷子	6682	八重山上下、苧麻	苧麻赤色地経緞平織衣裳	苧麻/紅花染、経緞/地色は後染	
第八号ロ号	羅形付羽衣	6683	八重山苧麻、掛袴付き縮緬	綿縮織花色地縮緬に流水松楓小鳥模様紅型縮緬	絹/縮緬、紅型	
第八号ハ号	板占羽衣	6684	縮緬	絹縮緬赤色地の裏銀杏に花鳥模様板袴羽衣	絹/板袴	
第八号ニ号	細上布世	6685		苧麻白無地平織下着	苧麻/平織	
第八号ホ号	細上布縮衣袴	6686a-1	他三枚、八重山苧麻	苧麻白無地平織縮衣	苧麻/平織	
	細上布縮衣袴	6686a-2		苧麻白無地平織縮衣	苧麻/平織	
	細上布縮衣袴	6686b-1		麻白無地平織袴	麻/平織	
	細上布縮衣袴	6686b-2		苧麻白無地平織袴	苧麻/平織	
第九号ロ号	白糸縹色蕉小袖	6688	朱桜、芭蕉、綴織、女打袴	芭蕉朱桜経緞縮緬織衣裳	芭蕉/縮緬	
第十号ロ号	巴子色衣	6690	紺地、紗綾織、裏水色地織子	ウール青色無地紗綾織衣裳	ウール/藍染、紗綾織	親方男ノ部
第十一号イ号	菊地京晒色衣	6696	紺地芭蕉	芭蕉白地樹格子縮織衣裳	芭蕉/藍染、綴織	
第十一号ロ号	白糸羅織帷子	6697		?白無地平織衣裳	苧麻/平織	
第十一号ハ号	白細上布縮衣袴	6698a	他二領、経絹板、緯絹糸	苧麻白無地平織衣裳	苧麻/平織	
	白細上布縮衣袴	6698b		麻白無地平織袴	麻/平織	
	白細上布縮衣袴	6698b-2		苧麻白無地平織袴	苧麻/平織	
第十一号ニ号	白細上布廣袖下着	6699	桐板	麻白無地平織下着	麻/平織	
第十二号ロ号	手織給	6701	裏赤木綿、経糸茶絹糸、緯水色木綿、黒紺	綿淺地手織平織給衣裳	木綿、生絹/箔子備、緯紺	親方女ノ部
第十二号イ号	白糸経給色衣	6702	茶色地、経絹糸、緯絹糸、裏木綿、表と同色	絹茶色地平織給衣裳	経生絹、緯手紡糸の絹/平織	親雲上男ノ部
第十三号ロ号	白糸縮袴	6703	木綿藍染(表裏)	綿紺地格子平織衣裳	木綿/藍染	
第十三号ハ号	紺地半	6704	木綿格子緋、認朝はと一ター	綿紺地格子緋緋平織り衣裳	木綿/藍染、平織	
第十三号ホ号	綴子大帯	6706		絹紺地雲龍様模入り帯	絹/藍染、綴子	
第十四号イ号	白糸花織色衣	6707	朝衣、花織(経浮が表)、カーキ色	芭蕉ねずみ茶地経浮花織朝衣	芭蕉/首里花織、後染	
第十四号ロ号	羅織帷子	6708	鼠地縮緬、朝衣	経緞袴桐板灰色地経緞縮緬朝衣	経緞袴桐板/藍生葉染、縮緬	
第十五号イ号	白糸花織給	6709	経絹糸緯真綿袖、裏赤木綿	経緞袴木綿淺地花織衣裳	経緞袴木綿(手紡糸)/藍染、首里花織	親雲上女ノ部
第十六号イ号	紺地帷子	6712	宮古上布	苧麻紺地経緞平織衣裳	苧麻/藍染、経緞緋(絵図紺)	
第十六号ロ号	芭蕉紺地小袖	6713	女打袴、土族	芭蕉紺地袴縮緬平織夏衣裳	芭蕉/藍染、平織	
第十七号イ号	天青色朝衣	6714		芭蕉紺地平織朝衣	芭蕉/藍染、平織	里之子黄登之男ノ部
第十七号ロ号	木綿色衣	6715	茶地	木綿赤茶地平織給衣裳	木綿(手紡糸)/泥染、平織	
第十七号ニ号	桐板羅織帷子	6717	桐板縮緬、男用田無	桐板深淺地縮緬朝衣	桐板/藍染、縮緬	
第十七号ホ号	芭蕉紺地帷子	6718	紺地縮緬朝田無	芭蕉紺地経緞縮緬男物衣裳	芭蕉/藍染、縮緬	
第十七号ヘ号	小倉織細帯	6719		綿茶色経緞縮緬帯	木綿/平織	
第十八号イ号	水色朝衣	6720	経絹糸緯芭蕉	芭蕉淺地平織朝衣	絹芭蕉、芭蕉/藍染、平織	平民男ノ部
第十八号ロ号	木綿馬褂	6722	裏淺地木綿	綿黒平織フイター(馬乗用)	絹/平織	
第十八号ホ号	色衣帷子	6724	苧朝深淺地、八重山、田無	苧朝深淺地無地平織衣裳	苧麻/平織、藍染、後染	
第十八号ヘ号	紺地帷子	6725	芭蕉(本島)、経灰色、縹白糸	芭蕉紺地経緞縮緬夏衣裳	芭蕉、綿は朝板/平織	
第十八号ト号	紗綾大帯	6728		絹紺地紗綾男物帯	絹/紗綾	
第十八号ヌ号	木綿大帯	6729	ウール縮緬	ウール平織細帯	ウール/平織、変化組織	
第十八号ル号	木綿細帯	6730		綿紺地平織細帯	綿(糸は輸入物)/平織	

目録番号	目録名称	番号	大城メモ	現名称 (祝儀付与)	祝儀調査	備考
第十九号口号	木綿形行箱	6732	表裏同布 (紅型)	綿深淺地平織羽衣	綿/平織	平民女/部
第十九号ハ号	木綿壽地襦袢	6733	水色地・裏木綿	棉花色地梅襦袢模型袷衣裳	綿/型袷 (二枚型)	〃
第十九号本号	赤苧袴子	6735	苧麻黄色地・八重山	苧麻薄黄地平織衣裳	苧麻/平織	〃
第十九号ハ号	形付袴子	6736	桐板	苧麻附地あられ紋型付夏衣裳	苧麻/型袷	〃
第十九号子号	萌地雨衣	6738	水色地・白糸	苧麻深淺地平織雨衣	苧麻/平織	〃
第十九号リ号	芭蕉小袖	6739		芭蕉地経緯平織夏衣裳	芭蕉・青い縞は綿/平織・藍染	〃
第十九号ヌ号	芭蕉袴	6740		芭蕉無地平織袴	芭蕉/平織	〃
第一号イ号	粗地細上布	6741	宮古・黒朝衣	苧麻紺地経緯綿平織夏反物	苧麻/経緯綿 (総四掛)	本園固有織物/部
第一号ハ号	全	6743	紺地綿	苧麻紺地経緯綿平織反物	苧麻/経緯綿 (総四掛)	〃
第一号ニ号	全	6744	紺地綿	苧麻紺地経緯綿平織反物	苧麻/経緯綿 (総四掛)	〃
第二号口号	紺縞細上布	6748	紺縞上布・苧麻八重山	苧麻紺地経緯綿平織布袷	苧麻/経緯綿 (総四掛)	〃
第二号ニ号	全	6750	苧麻八重山・紺上布	苧麻紺地経緯綿平織反物	苧麻/経緯綿 (総四掛)	〃
第二号ホ号	全	6751	花倉織・白糸ミージ色		麻/後染	〃
第二号ハ号	全	6752	白糸袴子	芭蕉白地帯袴子平織反物	芭蕉/袴子袴	〃
第二号ト号	赤襦袢	6753	芭蕉花織	苧麻白地赤縞袴の中織反物	苧麻/経緯に綿掛 (総四掛)	〃
第二号子号	白全	6754	芭蕉花織	芭蕉無地花織反物	芭蕉/花織	〃
第三号口号	縞縞	6756	久米島縞・縞	箱縞綿経緯平織反物	箱縞 (手紡糸) / 経緯	〃
第四号イ号	練藍布	6761		芭蕉無地帯織反物	芭蕉/平織	〃
第四号ロ号	全	6762	芭蕉縞織 (本島)	芭蕉無地帯織反物	芭蕉・経緯は綿/総織	〃
第四号ハ号	全	6763	紺地縞織芭蕉・大きな縞	芭蕉無地帯織反物	麻/経緯に綿掛 (総四掛)	〃
第四号ホ号	芭蕉布	6765	桐板白地経緯綿	麻白地経緯綿平織衣裳	麻/花織織・後染	〃
第四号ヘ号	花織襦袢	6766		麻浅地花織織反物	麻/花織織・後染	〃
第四号ト号	蓮袴布	6767		蓮袴地芭蕉経緯平織布	蓮袴布・縞は芭蕉/経緯	〃
第四号子号	桐板布	6768	芭蕉	経芭蕉縞桐板地平織袷	経芭蕉・袴柄反/平織	〃
第四号リ号	全	6769	芭蕉	桐板赤糸地袴子平織袷	桐板/藍染・袴子に綿掛 (総四掛)	〃
第四号ヌ号	全	6770	桐板袴子綿	桐板白地袴子綿に袴掛平織反物	木綿 (手紡糸) / 平織	〃
第五号イ号	木綿布	6772		綿手紡糸白無地平織布	木綿・生絹/平織	〃
第五号ロ号	白糸布	6773	灰色絹糸絹木綿・ヤシラミ織	綿生絹紺地ヤシラミ織反物	木綿・綿と絹の交糸/平織	〃
第五号ハ号	全	6774	経木綿・綿ムディ (絹白と木綿織)	綿経緯綿糸全平織布	経絹綿綿 (手紡糸) / 花織	〃
第五号ニ号	花織布	6775	白地花織・経絹糸	経絹綿木綿手紡糸薄紫花織布	木綿/経緯に綿掛 (手紡糸)・藍染	〃
第五号ト号	木綿布	6778	紺地縞中・藍染・首里	木綿縞の中平織反物	芭蕉/袴子袴	〃
第六号	芭蕉布	6789		芭蕉袴子平織布	箱芭蕉/平織	〃
〃	芭蕉布	6790	本島	芭蕉無地平織反物	芭蕉/経緯	〃
〃	芭蕉布	6791	経芭蕉	芭蕉経緯平織反物	芭蕉・白糸は木綿/経緯に綿掛	〃
〃	芭蕉布	6792	芭蕉・経木綿	芭蕉経緯綿平織反物	芭蕉/経緯	〃
〃	芭蕉布	6793	経芭蕉	芭蕉経緯綿平織反物	芭蕉・青と白は木綿/経緯	〃
〃	芭蕉布	6794	芭蕉	芭蕉無地経緯平織	経綿綿芭蕉緑地経緯縞織反物	箱芭蕉/平織
〃	芭蕉布	6797	縞織・苧麻	芭蕉無地平織反物	芭蕉・白は木綿/経緯に綿掛	〃
〃	芭蕉布	6799	芭蕉	西芭蕉地経緯綿平織布	木綿/藍染・経緯綿 (総四掛)	〃
〃	芭蕉布	6800	縞縞縞灰色白糸	西芭蕉地経緯綿平織反物	木綿/藍染・経緯綿 (総四掛)	〃
第七号ニ号	紺地カスリ布	6783	木綿	木綿原色地経緯綿平織反物	木綿/経緯綿 (総四掛)	〃
第七号子号	鼠布	6786	コージャー・縞	綿白地経緯綿平織反物	木綿/経緯綿 (総四掛)	〃
第七号リ号	白地カスリ布	6787		綿白地経緯綿平織反物	絹/経緯綿	等級ヲ示標章男子ノ部
第三	赤地五色浮織冠	6823		緞子赤地五色浮織冠	絹/経緯綿	〃
〃	紫地五色浮織冠	6824		緞子紫地五色浮織冠	絹/紋織子	〃
〃	黄冠	6826		絹黄色地紋織子冠	絹/平織	〃
〃	赤八巻	6828		絹朱色地厚手平織冠	絹/平織	〃
〃	全	6829		絹朱色地薄手平織冠	絹/平織	〃
〃	手拭	6858	花染手巾・八重山の筋、紋りではない	苧麻紅花地帯綿平織ティーサーズ	苧麻/板袴/花染ティーサーズ	臨時着用/装飾
第四	カシレー	6862		絹赤色縞絹カシレー	絹/箱物	人体ヲ清潔ニテス鞋箱物
〃	頭巾	6863	ニーサー以下の頭巾	金糸入り緞子紋織帽子	絹/緞子/子供用	〃
〃	給巾	6864		絹紺こけ茶地平織百括用の頭巾 (マンサーズ)	絹綿/平織	〃
〃	女巾頭	6865		木綿帯地平織布	綿/藍染・平織	〃
第六	風呂敷	6954		苧麻紺地富浦箱風呂敷	苧麻/箱物	家具類
〃	紋帳	6956		苧麻緑地平織	苧麻/平織	〃

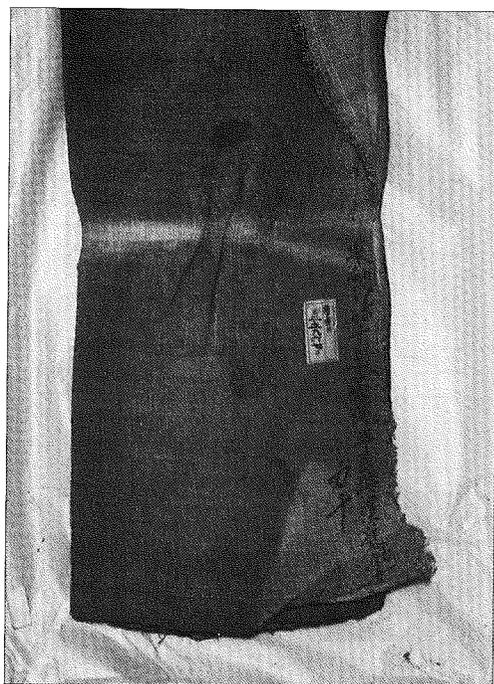
※番号は、ベルリン民族学博物館の所蔵番号である



密林耐 (左)、 白耐 (右)、 (東京国立博物館蔵)



桑糸 (東京国立博物館蔵)



桑布 (東京国立博物館蔵)

物品目錄及
精算書

第一号

食物ノ部

獨乙ノ部	一金千四百九拾円貳拾七錢五厘		
一 米		壹合	金八厘
一 糯米		全	全八厘
一 梅紅米		全	全壹錢貳厘
一 粟		全	全八厘
一 大麥		全	全壹錢
一 小麥		全	全壹錢
一 裸麥		全	全八厘
一 真黍		全	全壹錢貳厘
一 黍		全	全壹錢
一 白胡麻		全	全壹錢
一 黑胡麻		全	全壹錢
一 小豆		壹合	金壹錢貳厘
一 青豆		全	全壹錢貳厘
一 豌豆 赤白		貳合	全貳錢
一 扁豆		壹合	全壹錢
一 落花生		全	全壹錢貳厘

内訳	物品購求費	
金千三百拾五円八拾壹錢	雜費	
金貳拾円拾九錢五厘	諸雇費	
金四拾九円六拾錢	荷造費	
金貳拾八円〇五錢	運送費	
金七拾四円八拾錢	全	
金壹円八拾貳錢		
但シ東京本石町運送間屋ヨリ		
上野博物局迄		

一 白大豆	全	全壹錢	一 縮緬海鼠	壹斤	全壹圓五拾貳錢八厘
一 唐豆	全	全壹錢	一 干鯖	全	全拾三錢
一 白子豆	全	全壹錢	一 鯖ノヒリ	貳枚	全五拾六錢貳厘
一 本大豆	全	全壹錢六厘	一 漬屋久具 入壺共	壹舛	全六拾八錢
一 下大豆	全	全壹錢	一 全紅貝 全	全	全壹圓六拾錢
一 菜種子	全	全壹錢貳厘	一 全アザ貝 全	全	全七拾八錢
一 芥子	全	全拾壹錢	一 全サ々へ 全	五合	全三拾貳錢四厘
一 辛子	全	全貳錢	一 白貝醬物 入壺共	五合	全貳拾錢
一 唐芋	貳斤	金四厘	一 黃醬物 全	全	全三拾錢
一 山芋	全	全貳錢八厘	一 シユク醬物 全	壹舛	全貳拾六錢
一 カヤ芋	壹斤	全貳拾九錢	一 マカイ醬 全	全	全貳拾八錢
一 唐芋葛	全	全六錢	一 青苔	貳拾目	全壹錢
一 里芋	貳斤	全壹錢四厘	一 漬洲苔	五合	全六錢
一 田芋	全	全七錢	一 紫苔	貳拾目	全五錢
一 唐芋粕	壹斤	全貳錢	一 白菜	全	全壹錢五厘
一 蘇鉄葛	壹合	全貳錢	一 角俣	半斤	全拾錢
一 薇葛	貳合	全三拾貳錢	一 モーヒ	四拾目	全三錢
一 干氷魚	壹枚	全五錢	一 椎茸	貳拾目	全八錢
一 乾鮪	壹頭	全貳拾貳錢五厘	一 木クラギ	全	全六錢
一 伊良部鰻	壹本	全拾七錢	一 塩豚	拾斤	全壹圓拾錢
一 鰯	壹斤	全九錢	一 塩猪	拾四斤五合	全壹圓拾六錢
一 海馬	壹斤四拾目	金五拾錢	一 豚油	壹舛	全八拾錢

一本膳	壹枚	全六拾九錢	一猫足膳全吸物膳	貳枚内	本膳金壹円 五錢
一八寸膳	全	全五拾壹錢	一蓋マカイ	貳	全八拾錢
一肴鉢	全	全六拾錢	一大形葫蘆	壹	全拾四錢
一茶碗	五枚	全貳拾錢	一水瓶 錫	全	全壹円五拾錢
一茶家	三個	全四拾錢貳厘	一茶コボシ 全	全	全壹円 五錢
一耐家	貳個内	壹個金四錢	一茶壺 全 家共	壹對	全三円九拾五錢
一居瓶	壹個	壹個金拾八錢四厘	一杯洗 全	壹	全壹円五拾四錢
一黒木箸	壹手	全貳拾錢	一茶匙 全 上戸共	全	全貳拾貳錢
一湯次	壹	全四錢	一丸盆	壹枚	全貳拾八錢
一初立	全	全五拾六錢	一藤盆 貳個	壹個	全壹拾八錢
一貝摺菓子皿	壹枚	全貳拾八錢	一三人弁當箱	全	全壹円六錢
一四方盆	貳個内	全八拾錢	一東道盆	壹個	全六円七拾錢
一錫鶴瓶	壹	壹個金四拾八錢	一薄茶々碗	貳枚	全拾六錢
一アン瓶	全	壹個金四拾貳錢	一錫急須	壹	全拾四錢
一盃	拾個	全八拾七錢五厘	一呑口	全	全貳拾五錢
一椰子皿	壹	全拾六錢	一角宝藏	全	全五拾錢
一椰子	全	全三拾錢	一茶庫	全	全五円
一茶盆	全	全壹円	一人弁當箱	全	全壹円貳拾貳錢
一茶請盆	壹	全九拾錢	一錫茶臺	壹個	全貳拾錢
一硯蓋	壹組	金壹円〇四錢	一朱塗全	全	全九錢五厘
		全九拾六錢			

一木小皿 全九錢
一立盃蓋共 全壹円貳拾錢

第二

男女及ヒ等級ヲ示ス處ノ衣服類

王子按司男ノ部

第一号

内

イ号 綠色朝衣 金五円八拾貳錢
口号 綸子裕色衣 全貳拾円
ハ号 花縮緬裕 全拾貳円四拾錢
ニ号 綸子桐衣袴 全拾貳円
ホ号 白紗桐衣袴 全六円
ヘ号 金入錦大帯 全貳拾円
ト号 金入緞子細帯 全五円

第二号

内

イ号 羅色衣 金九円

第三号

内

口号 萌地京晒色衣 全五円
ハ号 花藏織色衣 全五円五拾錢
ニ号 縮緬桐衣袴 全九円貳拾錢
ホ号 白晒桐衣袴 全三円四拾錢

第四号

内

イ号 紗綾裕色衣 金拾三円
口号 八丈縞裕 全拾三円
ハ号 紗綾裕桐衣袴 全拾貳円
ニ号 圓金大帯 全拾壹円
ホ号 錦大帯 全拾七円

イ号 白糸ヤスラムミ裕 金九円
口号 白糸羅飛織裕 全九円
ハ号 白糸ムデ綾裕 全八円四拾錢
ニ号 木綿桐衣袴 全壹円
ホ号 木綿廣袖下着 全壹円
ヘ号 緞子馬掛 全拾三円

第五号

内

イ号 紺地細上布帷子
口号 晒廣袖下着

金九円
全三円六拾錢

八号 花縮緬桐衣

全六円

二号 木綿形付單小袖

全四円

木号 緞子馬掛

全拾壹円

第八号

内

同女ノ部

イ号 赤苧帷子

金八円

口号 羅形付桐衣

全四円五拾錢

八号 板占桐衣

全三円六拾錢

二号 細上布裙

全貳円

木号 細上布桐衣袴

全三円貳拾五錢

第六号

内

イ号 綸子裕
口号 花縮緬裕
八号 紗綾形付裕
二号 綸子裕桐衣
木号 白紗綾桐衣
ハ号 木綿縮裙
卜号 木綿袴

金拾九円
全拾六円
全拾八円
全八円
全三円六拾錢
全壹円六拾錢
全壹円貳拾錢

第九号

内

イ号 形付帷子

金六円五錢

口号 白糸縞芭蕉小袖

全六円

第七号

内

イ号 手縞裕
口号 木綿形付裕小袖

金八円
全五円

第十号

内

親方男ノ部

イ号 天青色朝衣

金七円

口号 巴子色衣

全拾六円

八号 山東絀色衣

全八円貳拾銭

二号 絀色衣

全七円

ホ号 ハスモタラ大帯

全八円

ヘ号 錦大帯

全九円

ト号 博多織細帯

全四円

親雲上男ノ部

第十三号

内

イ号 白糸経裕色衣

金七円

口号 白糸縞裕

全四円貳拾銭

八号 紺地單

全六円

二号 綜錦大帯

全五円五拾銭

ホ号 緞子大帯

全三円

第十一号

内

イ号 萌地京晒色衣

金四円四拾銭

口号 白糸羅織帷子

全六円貳拾銭

八号 白細上布桐衣袴

全三円七拾銭

二号 白細上布廣袖下着

全貳円四拾銭

第十四号

内

イ号 白糸花織色衣

金七円

口号 羅織帷子

全四円六拾銭

同女ノ部

第十二号

内

イ号 カスリ絀裕

金拾七円

口号 手縞裕

全八円

同女ノ部

第十五号

内

イ号 白糸花織裕

金五円

口号 木綿形付裕

全五円貳拾銭

八号 綸子馬掛

全七円

第十八号

内

第十六号

内

イ号 紺地帷子

金五円

口号 芭蕉紺地小袖

全三円

里之子筑登之男ノ部

第十七号

内

イ号 天青色朝衣

金五円

口号 木綿色衣

全三円

八号 木綿紺地袷

全五円貳拾銭

二号 桐板羅織帷子

全貳円六拾銭

ホ号 芭蕉紺地帷子

全三円

ハ号 小倉織細帯

全四拾八銭

第十九号

内

同女ノ部

イ号 水色朝衣

金貳円拾銭

口号 木綿袷色衣

全壹円九拾銭

八号 木綿馬掛

全貳円八拾銭

二号 木綿紺地袷

全三円四拾銭

ホ号 色衣帷子

全壹円七拾銭

ハ号 紺地帷子

全壹円五拾銭

卜号 芭蕉帷子

全壹円貳拾銭

チ号 阿南齋桐衣袴

全壹円四拾銭

リ号 紗綾大帯

全壹円四拾銭

又号 木綿大帯

全六拾銭

ル号 木綿細帯

全四拾四銭

平民男ノ部

イ号 手縞袷

金三円六拾銭

口号 木綿形付袷

全三円六拾銭

八号 木綿萌地桐衣

全壹円拾銭

二号 木綿縞小袖

赤苧帷子

八号 形付帷子

下号 紺地芭蕉小袖

千号 萌地桐衣

リ号 芭蕉小袖

又号 芭蕉袴

全式円五拾銭

全壹円五拾銭

全式円式拾銭

全式円式拾銭

全九拾銭

全壹円六拾銭

全六拾銭

第二十号

一 衣服着用雛形

第二ノ内

本國固有織物ノ部

第一号

内

イ号 紺地細上布

口号 全

八号 全

二号 全

ホ号 全

金拾壹円五拾銭

全拾壹円

全拾壹円

全拾円

全九円

第二号

内

イ号 紺縞細上布

口号 全

八号 全

二号 全

ホ号 全

ハ号 全

下号 赤縞全

千号 白全

ハ号 全

全七円五拾銭

金五円四拾銭

全五円式拾銭

全五円

全四円八拾銭

全四円六拾銭

全四円四拾銭

全四円四拾銭

全三円三拾銭

第三号

内

イ号 カスリ紬

口号 縞紬

八号 全

二号 全

ホ号 全

ハ号 白全

金拾円

全五円四拾銭

全五円六拾銭

全五円四拾銭

全五円六拾銭

全五円八拾銭

第四号

内

イ号	練蕉布	金六円八拾銭
ロ号	全	全六円八拾銭
ハ号	全	全六円四拾銭
ニ号	羅織布	全五円
ホ号	芭蕉布	全六円五拾銭
ヘ号	花蔵織布	全五円貳拾銭
ト号	蘆薈布	全四円
チ号	桐板布	全三円五拾銭
リ号	全	全四円
ヌ号	全	全四円貳拾銭
ル号	白糸羅トン織布	全九円

第五号

内

イ号	木綿布	金壹円
ロ号	白糸布	全八円
ハ号	全	全六円
ニ号	花織布	全四円
ホ号	全	全五円
ヘ号	手縞布	全六円

ト号 木綿布
チ号 全

全四円五拾銭
全三円六拾銭

第六号

内

各種芭蕉布 拾貳反
平均壹反二付壹円五拾三銭余
金拾九円九拾銭

第七号

内

イ号	紺地カスリ布	金六円拾銭
ロ号	全	全六円拾銭
ハ号	全	全六円拾銭
ニ号	全	全六円拾銭
ホ号	全	全六円拾銭
ヘ号	浅黄布	全五円拾銭
ト号	鼠布	全三円貳拾銭
チ号	白地カスリ布	全貳円三拾銭
リ号	全	全貳円三拾銭
ヌ号	全	全貳円三拾銭

第八号

一 芭蕉経

全十六拾銭

第十五号

染料具 拾三品

全貳拾四銭壹リ

第九号

一 全續経

全七拾銭

第三

第十号

一 唐苧経

全壹円六拾銭

等級ヲ示標章男子ノ部

第十一号

一 紬経

全貳円

一 赤地五色浮織冠 家共 壹個

金五円五拾銭

一 紫地五色浮織冠 全

全四円貳拾銭

一 紫冠 全

全貳円

一 黄冠 家共 全

全貳円

第十二号

一 木綿経

全四拾銭

一 赤八卷 全

全壹円三拾銭

一 青八卷 全

全八拾銭

第十三号

一 蘆薈経

全壹円拾銭

一 金簪 式本

全拾四円

一 金銀簪 花金樺銀ニテ製ス 全

全三円六拾八銭

一 銀簪 全

全壹円拾三銭四厘

第十四号

一 綿子

全壹円四拾銭

一 鍮鈿簪 全

全拾六銭

全女子ノ部

第四

一金簪 貳本 金拾六円貳拾三錢貳厘

一銀簪 三本 全貳円九拾三錢四厘

一鍮鈿簪 貳本 全貳拾四錢

一龍甲簪 壹本 全貳円八拾錢

一木簪 全 全四厘

人体ヲ清潔ニナス粧飾物

一梅ノ油 半斤 金貳拾貳錢

一丁子油 全 全五錢五厘

一髮附 美艷香梅ノ露 半斤 全貳拾貳錢

一指輪 金 壹斤 全拾六錢

一銀 貳對 全六円八拾五錢

一カシレ一 壹房 全七拾貳錢

一頭巾 壹個 金壹円

一細巾 全 全四拾六錢

一女巾頭 全 全五錢

一手水粉 入壺共 全 全四錢四厘

一齒研粉 全 全貳錢

一男櫛箱 全 全三円六拾錢

附屬品 桁共

一竹櫛 桁共 全 全貳拾九錢

一木櫛 大中小 壹個 全拾四錢

一玉鏡 壹個 全六錢

臨時着用ノ裝飾

一金地印籠 壹個 金四円

一象牙印籠 全 全六円

一巾着 全 全五拾錢

一花巾着 全 全五拾錢

一足袋 上串共 貳足 全七拾四錢

一扇子 壹本 全貳拾五錢

一絹多葉粉入 キセル共 全 全六拾錢

一女寶藏 全 全四拾貳錢

一手拭 全 全五拾錢

一 剃 全 全拾六錢
 一 アハシ 全 全拾錢
 一 鍬 全 全拾貳錢

一 女櫛箱 全 全壹円七拾三錢

附屬品

一 竹櫛 全 全貳拾五錢
 一 角櫛 三箇 全七拾錢
 一 垢取 壹個 全六錢
 一 簪差 全 全四錢
 一 鏡 家共 全 全八拾四錢
 一 鏡立 全 全四拾錢
 一 油次 全 全拾三錢

皮膚爪染料物

一 鳳仙花 壹匁 全壹錢
 一 墨 壹丁 全四拾錢

膚割器機械

一 針 壹揃 金貳拾錢

人体ノ局部ヲ變形シタル見本

一 繪図

第五

住家模造雛形

一 寫真 拾枚 全五円

第六

家具類

一 檀笥 壹個 全拾円四拾錢
 一 戸棚 見本 全 全壹円九拾錢
 一 双紙カイ 全 全九円
 一 櫃 全 全五拾錢
 一 衣架 全 全壹円五拾錢

一 皮籠	鎖子共	全	全五円五拾錢	一 天籠		全	全拾三錢
一 半切	見本	全	全式拾四錢	一 料紙硯箱	内附屬品三ツ	全	全六円拾錢
一 棕栢箒		全	全式拾四錢	一 硯石		全	全五拾錢
一 藁箒		全	全式錢六厘	一 箱見臺		全	全三円三拾錢
一 塵取		全	全拾錢	一 机		全	全三円八拾錢
一 バーキ		全	全四錢六厘	一 重箱	六寸七寸八寸	三組	全拾三円〇五錢
一 サウキ		全	全壹錢六厘	一 中央卓	附屬品六個共	壹脚	全式拾七円
一 ヨイ		全	全三錢四厘	一 花入	臺共	壹個	全五円三拾錢
一 メサウキ		全	全七錢	一 提重	家並棒共	全	全廿三円五拾錢
一 水納		全	全八錢	一 屏風		片間	全式四八拾錢
一 疊表		壹枚	全三拾貳錢	一 丁子風炉		壹個	全八拾錢
一 押巻表		全	全拾九錢	一 雨傘		壹本	全七拾貳錢
一 備後折筵		全	全六拾八錢	一 日傘		全	全五拾貳錢
一 ホコ蘭筵		全	全三拾錢	一 備後編笠		全	全四拾五錢
一 アダン葉筵		全	全式拾八錢	一 竹編笠		貳個	壹個 全壹円
一 苧口三ツ入子		三個	全三円九拾錢			壹個	全式拾錢
一 枕箱		壹個	全七拾八錢	一 麥藁笠		壹個	全三拾錢
一 枕 入子		貳個	全式拾八錢	一 久葉笠		全	全六錢
一 燈爐	附屬品貳個	壹個	全壹円六拾錢九厘	一 棕栢蓑		全	全七拾錢
一 燈臺		全	全壹円七拾六錢	一 茅蓑		全	全八錢
一 手燭	全	全	全三拾五錢	一 砥石		壹丁	全三拾錢
一 焼灯	棒共	全	全壹円九拾錢	一 火鉢藥罐	五徳共		全四円五拾六錢

一 男多葉粉盆 全式拾四錢
 一 女全 全八拾五錢

一 高麗幾世留 壹個 金五厘
 一 針差 全拾錢

一 風呂敷 全八拾錢
 一 小刀 全三錢

一 蚊帳 全拾壹圓
 一 手桶 見本 全拾錢

一 釣瓶 全式錢
 一 白皮緒下駄 壹足 全三拾貳錢

一 黒皮緒全 全三拾錢
 一 バラ緒全 全式拾五錢

一 足駄 全式拾壹錢

第七 獸獵器械

一 槍 壹本 全三拾錢

一 山刀 壹個 全式拾六錢

第八

農具

一 鋤 壹個 金八拾六錢

一 鋤 見本 全式拾錢
 一 鋤 全拾五錢

一 鎌 全拾四錢
 一 石鋤 全六拾六錢

一 テビク 全五錢
 一 クヤシ桶 柄杓共 見本 全拾貳錢

一 棒 全三拾錢
 一 アウゲ 全三拾錢

一 車棒 見本 全五錢
 一 糶摺春 見本 全式拾錢

一 斧 全六拾錢
 一 春 式個杵並ニカケツチ共 全式拾錢

一 芋葛摺 全金五錢八厘
 一 製糖車全 全五圓八拾錢

本國固有ノ技術ニ係ル物品

- 一 木地挽機械 見本 壹通
- 一 藍葛 貳拾貳斤
- 一 草履 五足
- 一 芭蕉紙 全壹圓九拾八錢
- 一 藁唐紙 全三拾四錢
- 一 仙香 全壹錢
- 一 久葉團羽 全七錢貳厘
- 一 鳳櫃見本 壹個
- 一 カクラサン見本 全
- 一 今焼屋貫 全
- 一 今サーク 全
- 一 荒マカイ 貳枚
- 一 布織機械 見本 壹揃
- 一 木綿バタ 全 壹個
- 一 糸繰機械 全 壹揃

圖面

陶器

- 一 陶器染料 内土二品 拾品
- 一 全製造機械 見本 壹個
- 全八錢貳厘
- 全貳拾錢

第拾

第一号

- 一 大字見本及ヒ元質ノ見本略ス
- 漢字ヲ用ヒ通常大和文ヲ用フ

第二号

- 一 本國字母 見本壹通

第三号

- 一 詩 見本壹枚

第四号

- 一 歌 見本壹枚

第五号

一 諺語 壺通

第六号

一 捺印 袋共壺個

全四拾貳錢

第十一

一 尺度

壺個

金五錢

一 舂

三個

全八拾六錢三厘

目錄外ノ部

一 衡

壺個

金貳拾四錢

第七号

一 觀音像 壺個(彫刻物 二個)

金五円

第十二

一 算盤

全

全三拾錢

第八号

一 掛章

全貳円

樂器類

第九号

一 繪画 山水

一 坐楽 繪図面

一 路次楽 全

一 琴並二笛 全

一 三味線

壺丁

金五円

一 彩色 花鳥

一 小弓

全

全貳円

一 半笙 房共

壺個

全貳円貳拾五錢

第十一号

一局棋

全貳円七拾五錢

一 大鼓 臺撥共

壺丁

全三円五拾錢

第十三

玩物

一 繪図面類

四拾枚

金三拾円〇五錢三厘

一 雜品

拾六個

金三円三拾九錢八厘

第十四

神官僧侶及ヒノロクモイ衣服着用雛形並神佛樂器

神官ノ部

合計金千三百拾五圓八拾壹錢

一 衣服着用雛形 図面
一 樂器 全

雜費

僧侶ノ部

一金八拾錢

八卷ノ緒

一 衣服着用雛形 図面

一 全拾貳円九拾壹錢

衣類仕立及布洗濯并簪類製造研賃

一 樂器

一 全九錢

居瓶并瓢ノ口

一 ノロクモイ 全

一 全貳円貳拾五錢六厘

壺代及ヒ棕栢并藁卷賃

一 全拾八錢貳厘

木綿真田代

一 全貳拾錢 木札

一 全四拾錢 簪入箱

一 全拾錢 香入箱

一 全貳拾錢 砂糖入樽

一 全貳拾錢 画仙紙 二枚

一 全貳拾錢 消耗費

一 小計金貳拾圓〇拾九錢五厘

荷造費

一 金貳拾八圓〇五錢

内訳

金拾九圓七拾三錢

荷箱五拾壹個

金八圓三拾貳錢

荷造貳拾六個

諸雇給

一 金四拾九圓六拾錢

運送費

内訳

金七圓五拾錢

鑑定人給料

一金七拾四圓八拾錢

荷物貳拾六個

金三圓七拾五錢

筆工 全

一金壹圓八拾貳錢

東京本石町ヨリ上野迄

金三拾七圓四拾錢

雇 全

金九拾五錢

全弁當料

甲

博物局 第七五号

九月廿一日上達

十月七日決判

獨逸公使□

九月廿五日

達 濟

明治十七年九月十九日 五等属野邨重次

卿 史傳課

輔

書記官

博物局長

獨逸公使依頼ニ係ル琉球島物品採集整頓

ニ付同公使渡方之義御付伺

在本邦獨逸公使依頼ニ係ル琉球島人種學術上

關係ノ物品採集整頓ニ付外務省ヲ經テ同公使へ被
相渡可然ニ付其旨該者へ御照会相成候処右物品採

集之義者貴前同国代理公使フラン、ツエトウ井ツツより
直ニ本省御へ依頼有之候義ニテ其事タル固より重大ノ□

件ニテ参考に付此件ニ限り直ニ農商務卿より該公使書□
通相達度旨外務省御奏御用掛花房真三郎來談

有之候尤獨乙公使館へ者右之手続ニ運フベク様同人より
予メ談シ來候内ニ□問則來意ニヨリ左ニ獨逸公使へ御

通書案取調此如相伺候也
獨逸公使御書翰案

一 翰啓上致□陳候者琉球嶋之品物人種學上關係ノモ
ノ貴国博物局中ニ御備相成度旨ヲ以テ千八百八十

二年十二月五日付代理公使フラン、ツエトウ井ツ
ツ氏より採集方御依頼ニ付其筋相命シ承相処漸ク

此程採集相整別冊目錄之通上野博物館へ到着同館
楼上ノ一室ニ排列致シ置候間早々請取之者御

差越相來度且右ニ係ル費用ハ別冊目錄中へ記入
候通合金千四百九拾圓貳拾七錢五厘ニ候間追々(消シ)

御償還有之度候 敬具
□□□□□□

年 月 日 農商務卿 西郷從道

獨逸国公使

グラーフ、フォン、デーノンホフ閣下

右供覧観

公使ヨリ挨拶之書翰

琉球島人種学上ノ物品採集之義ニ付独逸国

甲
博物局第七五号

十月十四日

獨逸公使ヨリノ挨拶状

明治十七年十月八日

(庶務課) 印五等属野郎重次

庶務課

史傳課

卿

輔

書記官

博物局長

of 391.

Sokai, den 4. Oktober 1884.

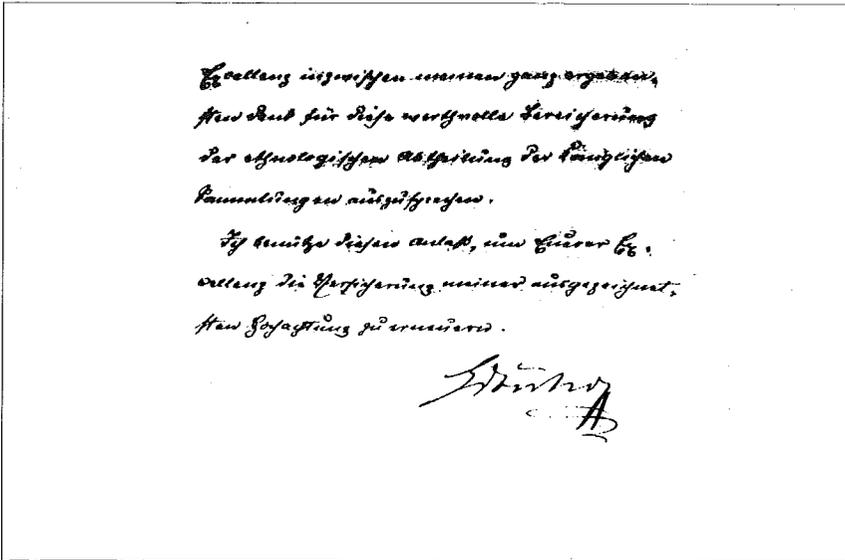
Eurer Excellenz geruigter Befehl vom
25. von. Okt. 84, betreffend die Sammlung
ethnologisch interessanter Gegenstände von dem
Liu-kun. Injau für die Königl. Hofsam.
in Berlin, habe ich zu erfüllen die Ebr. gefall.

Indem ich ganz ergetaucht bemerke, daß ich
die erforderlichen Objekte gesammelt habe, dem die
General. Direktions der Königl. Hofsam.
mit entsprechender Zusammenstellung zu ver.
Injen sind in der Erstellung der aufständischen

die letzten zu erledigen, verbleibe ich mit, Eurer

Dem Kaiserlich Japanischen Minister
für Handel und Landwirtschaft etc. etc.
Ihres Saigō Tsukunomihi

Excellenz



(書簡表書)

農商務卿伯爵西郷従道 独逸国特命全權公使

閣下 グラーフ、フォン、デンホッフ

伯林博物館用

之為御蒐集被□

琉球鳴人種学上

物品之義二付先月

廿五日附第廿四号

書翰落手致被

見候

我博物館ノ為

如此貴重之物品

御蒐集被下候段

御手数(消し)深

謝候右之次第者

早速博物館長へモ

申通且費用等

辨償方之儀も

申通置候間左

様御承知相成度

此暖伺貴意候以上

敬具

乙
博物館第五八号

十七年十二月八日

博物館達濟

追送ノ物品本館へ

□求

明治十七年十一月十一日 御用掛 塙 忠雄

史傳課

庶務課

博物館長殿

購求代償送付ノ儀ニ付沖繩縣江御回答案

御縣下人種學術上關係之物品採集洩之儀ヲ以テ

桑布壹反全經五拾目全皮五拾匁牛干五斤牛筋四

拾目杉原紙壹束百田紙壹束白酎壹斗密林酎壹

斗白酎壹舛御送付相成十月廿七日到着正ニ領収

候然ルニ右ノ内独逸國ノ分該公使ニ照會ニ及候最早

先般之物品ハ本國江送付濟ニ相成旁都合モ有之趣

ニ付右物品ハ當局分ト共ニ購求致代償ハ本省會計

局ヨリ御送付ニ及候間御了承有之度此段御回合
ニ及候也

明治十七年十一月

野村博物館長

西村沖繩縣令殿

追而今般更正領収証ハ落掌致隨而御申

越ノ領収証引替云々ハ本年八月中御縣出張費江

御返却ニ及置候間左様御承知有之度又以來ハ

物品採集洩有之候トモ御送付ニ不及候此段申添候也

乙

博物館第五八号

往第六七三号

本縣下人種學術上關係之物品去ル

七月中及御送付候処其此採集

洩之分今般別紙目錄之通り及

御送致候条御查收有之度該領

収証相添此段申進候也

明治十七年十月四日

西村沖繩縣令

秋博物局長 殿

領收證
①金參拾錢也 印

追テ先般御差廻相求候御局陳列

二係ル物品領收証別冊之通り更正

致候ニ付本文繰替費ト共ニ至急

御返却相求度此段添テ申進

候也

記

⑥

一金八拾錢六厘也

物品購求費

内訳

⑥金七拾五錢六厘

白酎老舂代

⑥金五錢

右入壺壹個代

右正二領收候也

東村十四番地第二号

明治十七年十月三日

宮城 仁王

①

印

右正二領收候也

西村五番地

明治十七年十月三日

京都名産社支店

沖繩縣會計課

御中

証

①金拾円八拾壹錢

物品購求費

内訳

①金三円貳拾五錢

桑布壹反代

①金三拾三錢

全経五拾目代

沖繩縣

會計課

御中

内訳

品目	価格	数量	小計金員
繩卷カメ那覇運賃 東京博物局迄	金三拾錢	壹個	金三拾錢

④金拾七錢

但シ拾匁二六錢六厘
牛皮五拾匁

④金貳円三拾四錢

但シ拾匁二三錢四厘

牛千五斤代
但シ壹斤二四拾六錢八厘

④金四拾六錢八厘

牛筋四拾目代
但拾斤二付拾壹錢七厘？

④金壹円〇五錢

杉原紙壹束代

④金貳拾九錢四厘

百田紙壹束

④金七円五拾五錢六厘

白酎壹斗代

④金貳拾壹錢

全入壺壹個代

④金貳円九拾三錢二厘

蜜林酒壹斗代

④金貳拾壹錢

全入壺壹個代

右正ニ領収候也

東村十四番地第二号

明治十七年十月十一日 宮城 仁王印

沖繩縣

會計課御中

金四拾錢

領収證

内訳

八重山島ヨリ	品目	価格	数量	小計金員
沖繩邊	壹④	金貳拾錢	貳個④	金四拾錢

右正ニ領収候也

沖繩縣開運會社 印

明治十七年十月三日

沖繩縣

會計課御中

領収證

④金四拾錢

内訳

八重山島ヨリ	品目	数量	価額	小計金員
当那覇迄	白木箱	貳個	貳拾錢	金四拾錢

右正二領収仕候也

沖繩縣開運會社 印

十七年十月三日

沖繩縣

會計課御中

右正二領収候也

西村五番地

明治十七年十月三日

京都名産社支店

印

沖繩縣

會計課

御中

領収證

㊦一 金參拾円九拾錢也 ㊦

内訳

品目	価格	数量	小計金員
御用大曲木桶及□作 同那覇より	金貳拾五錢	貳個 ㊦	金五拾錢
東京博物館迄運賃	金六拾五錢	貳個 ㊦	金壹円三拾錢
繩卷カメ那覇より	金壹円五錢	貳個 ㊦	金貳円拾錢
東京博物館迄運賃			

目録

桑布 宮古島産

湿気ヲ払フモノニテ中症其他湿病者之レヲ着服ニ
用フ

全経 全上

全皮 全上

牛干 八重山島

鮑ニテ削リ醬油ヲ加ヘテ食ヒ又ハ煎テ料理ノ

一	味ヲ謂フ	
一	牛筋	全上
	煮テ料理ニ用フ	
一	杉原紙	全上
一	百田紙	全上
一	白酎	全上
一	蜜林酎	全上
一	メ九品	全上